

競争的資金獲得への道

— 「受かる」申請書の書き方と は—



日本学術振興会の特別研究員（DC1・DC2）の申請書の書き方についてのセミナーを行います。

自分の申請を採択してもらうためには、優れた研究を行い、少しでも多くの業績をあげる必要があります。しかしそれだけではなく、審査員に実行可能と信じさせる計画を立て、研究のおもしろさや意義をアピールすることが必要になります。

今回のセミナーでは、今年度に特別研究員（DC1、DC2）に採用された人間科学研究科の大学院生の方々に、実際に書いた申請書の一部を見せていただき、お話ししていただきます。各系をまたがった交流から成功例を聞くことは申請書を書く上で参考となる点が数多くあることでしょう。

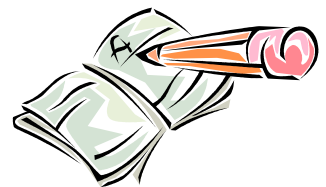
今年は、人間科学研究科の学振書類提出締切が **2016年5月2日(月)** ですが、書いてはみたものの提出前にもう一度見直したい方も、これから仕上げていく方も、どなたでもふるってご参加ください。

日時：4月7日（木） 13時～14時30分

場所：人間科学研究科本館 41講義室

テーマ（予定）

- 申請書を書く上での全体的な注意・気をつけること
- 「現在までの研究状況」の書き方
- 「これからの研究計画」の書き方
- 「自己評価」の書き方の工夫
- “タイトル”の重要性
- 申請書で何を伝えるか？



※事前申し込みは必要ありません。当日直接会場にお越しください。

問い合わせ先

人間科学部北館3階306室（評価資料室） 助教 小林卓也

TEL：06-6879-4053 E-mail：takuyakobayashi@hus.osaka-u.ac.jp